

ミャンマー国人身取引被害者自立支援のための能力向上プロジェクト

No6/ 2012 年 12 月 22 日

ヤンゴンからミンガラバー

人身取引対策 National Task Force 会議

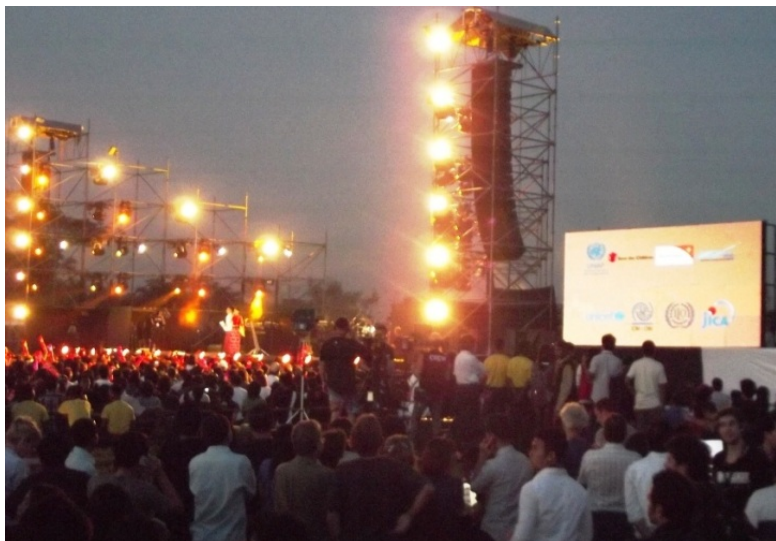


11 月 30 日に人身取引対策の National Task Force 会議が開催され、2012 年の活動の

総括が行われました。国家人身取引対策委員会 (GBTIP) のメンバーの各省庁から活動報告が行われ、今年から始まった JICA の技術プロジェクトについても丁寧な説明があり、GBTIP の年間計画の「保護」と「能力強化」の取り組みの分野で重要な位置を占めており、改めてプロジェクトをしっかりと推進していくことが期待されていると感じました。また 2013 年の重点分野として、ミャンマー国内の人身取引問題、取締りの強化、予防対策としての雇用創出、中国での強制結婚の問題、マレーシアとの関係強化など、今まで課題としてあげられていた点に取り組むことが表明されました。

人身取引啓発キャンペーン (MTV Exit コンサート)

12 月 16 日に、MTV End Exploitation and Trafficking (EXIT) 主催でミャンマー初の大規模野外ライブが開催



されました。特別ゲストとして米国グラミー賞受賞者の Jason Mraz 他ミャンマーの有名アーティストが多数参加し、人身取引に反対するメッセージを織り込みながらパフォーマンスを行いました。

JICA を含むミャンマーで人身取引対策の活動を実施している団体は、会場の中に設置された展示ブースの中で活動写真の展示や人身取引に関連するクイズやゲームを通じて人身取引の啓発活動を行いました。

JICA の情報ブースではタイ、ベトナム、ミャンマーでの人身取引に関するプロジェクトの紹介をし、ミャンマー語のプロジェクトの紹介チラシを 100 枚用意していましたが、観客が会場に入ってくるとすぐに無くなってしまふほどの盛況でした。

JICA 展示ブースの様子



また JICA 専門家を含む団体の代表者もライブの途中でステージの上にあがり、反人身取引のメッセージを観客に伝えました。総勢 7 万人の観客 (主催者発表) も大物アーティストたちのライブに大興奮でした。

コミュニティ学習センター (CLC) 訪問

12 月 21 日、ヤンゴン郊外にある Community Learning Center (CLC) を訪問しました。教育省管轄の図書室を含む生涯学習センターで、全国で 3000 以上ありながら、あまり活用されていないということです。

その中の 2 つのセンターで、UNFPA、UNESCO、UNDP が支援し FXB が実施主体となって、住民のエンパワーメ

ントのためのパイロットプログラムが展開されています。職業訓練、小規模融資、リプロダクティブ・ヘルス・ケア、情報提供、カウンセリングと必要な支援（医療・法律など）への紹介など、幅広い住民へのサービスを提供しています。

特に力を入れているリプロダクティブ・ヘルスの領域では、地域の若者にトレーニングを行い、ピア・エデュケーターを養成して活動してもらっているということです。男性も教育活動の対象になっていて、ピア・エデュケーターの中には男性もいたのが印象的でした。また、今回紹介している演劇グループも地域での教育活動に取り組んでいて、今回は妊娠、中絶の問題をテーマにしたものを上演していましたが、赤ちゃんからお年寄りまで老若男女が集まり、中絶がテーマの演劇を見て意見を交わしている場面は、日本ではちょっと想像し難いものでした。

演劇グループの活動風景



このエンパワーメントのプログラムは暴力や人身取引の被害者等の地域でも最も生き辛い人々をターゲットにしている一方、すべての住民に開かれていて、視察当日もセンターの前にはいろんな年齢層の男性や女性が列を作っていました。彼らは融資の申し込みや健康相談に来ているとのことでした。このようなセンターがミャンマーの各地に展開されれば、人身取引被害者の地域での生活サポートにも有効な手段となるのではと期待できます。

Francois-Xavier Bagnoud (FXB) 視察 (3号の続き)

10月の運営調査団の視察先の一つとして、スイスに本

部を置く NGO, Francois-Xavier Bagnoud (FXB) のヤンゴン郊外にあるワークショップ（職業訓練センター）を視察させて頂きました。興味深かったのは隣でやっていた若者の演劇グループの練習風景。今回は人身取引のテーマに取り組んでおり、自分たちで被害者から話を聴き、ストーリーを作るそうです。DV 家庭で育つ娘が主役のようで、アル中の父親からは進学を反対され暴力をふるわれ、借金を背負う母親からは借金返済のためにブローカーを通じて売られてしまいます。ブローカーの女性もかつては人身取引の被害者だという設定。リアルストーリーがベースになっていてよくできています。

次々と彼女に降りかかる受難。ストーリーは悲惨な結末で終わるのですが、2 回目の上演ではポイントポイントで観客のアイデアを取り入れて筋道を変えていく手法。一緒に考えることで、問題の解決のためにできることを確認できるという仕組みです。英国のプロの演劇家から訓練を受けたそうで、クオリティーも高く、

演劇グループの活動 (MTV Exit ライブにて)



ぜひ研修の中に組み込もうと思いました。

また、FXB のスタッフによると、様々な問題を抱えている青少年の活動の一環としてこの演劇活動を始めたそうなのですが、この活動に参加するようになってからは彼らの生活態度も変化し、色々な面で意欲的になってきたとのこと、この演劇活動が若者のエンパワーメントにつながっているようです。



本通信は、プロジェクトの進捗状況および周辺情報をお知らせするために専門家の見聞をお送りしています。JICA およびプロジェクトのカウンターパートの見解ではありません。禁転載